

勉強方法 OK-NG集

OK	NG
スマホを触る時間、友人とのLINEなど無駄な時間を削るが睡眠時間は確保する。	睡眠時間を削る
解法にも優劣はある。問題集の解答どおりに解けるように習得する。問題集は解法暗記するために使っている、ということを理解している。	解答と違う自己流のやり方で解き、答えがあつてたら○とする。
初見の問題はすぐに解説をみて、理解+習得に時間を使う。	問題集は実力試しのために使っている、と勘違いしている。初見の問題なのに自分で考え、悩むことに1分以上時間を費やす。
まとめノートは受験直前期や模試の直前に要点をしばって作成する。	受験の前半の時期に手当たり次第にまとめノートをつくる。
上滑りを避け、わからない問題は講義型参考書や基礎問題集を徹底して繰り返し確実に習得してから進む。	基礎を確認せずに難しい問題集に手をだすことに優越感を感じ上滑りをする。
2周目以降は問題に自分の習得度から優先順位をつけ、優先順位の高いものから取り組む。	前から順番に満遍なく復習してしまい、何周しても後ろの分野が苦手なまま残る。
苦手な問題や暗記できない項目は、理解を伴わせる、表にまとめる、口をつくるなど工夫して暗記、習得する。	苦手な問題や暗記できない項目も同じやり方でただ漠然と回数をこなすだけの勉強をしており、いつまでたっても克服できない。
できない問題は5回以上繰り返し確実に習得し、確認テストで満点をとって進む。	2,3回繰り返しただけで確認テストを受験し、80%前後になってしまう。
数理、特に数学が医学部受験において最も重要であり、数理の基礎力が確実につかない限り医学部合格はないということを理解している。	数理の実力が伴っておらず合格可能性がゼロであるにも関わらず英語や国語社会のことを心配する。
解答を隠して自力で解答が作れるかを手を動かして確認してから次の問題に進む。	手を動かさず、目で解答を追っただけで理解したつもりになり、次の問題に進む。
最後まで完答できることを確認してから次に進む。	解法を習得するとき、途中で出来た気になって次に進む。
できない問題をできるようにすることが勉強の目的であり、できない問題こそ何度も繰り返し復習し確実に習得する。	楽しいからと、できる問題だけ何度もやる。できない問題をやるのは辛くて逃げる。
与えられた課題にのみ集中し、それ以外のことは手を出さない。	いろいろな不安になり与えられた課題以外に手を出す。
式展開の裏側に隠された意図を読み取り、どうしてその式展開をしているか理解しながら勉強する。	式展開をただ丸暗記する。
模試の結果から、普段の勉強方法自体を見直す。	模試の結果から、その問題だけを復習して満足する。
カリキュラムと自分の進度を常に比較し、1冊あたりにかけられる時間、1問あたりにかけられる時間を逆算し、時間を測って勉強する。	ただ漫然と勉強し、結果的に進度が大幅に遅れる。
読んで暗記すること(インプット)と書き出すこと(アウトプット)を分けている。	解答を書き写している(書いて覚えようとしている)→完全に時間の無駄!
1週間の課題を5等分するなどして、不測の事態がおきても達成できる計画を立てる。また、順調にいったときは課題を先取りすることができる。	1週間の課題を7等分し、1日予定どおりにいかないだけで未達成になる可能性がある計画を立てる。
やる気がない時でも勉強する方法を習得している(他の教科をやる、リスニングの勉強をするなど)。	やる気がない時、気分に応じて勉強から離れる。
ケアレスミスの原因に実力不足もあると考え、ミスの原因追求や改善策の考案に加えて、普段の勉強方法も見直す。	ケアレスミスの原因はその日のコンディションが悪かっただけだと考え、普段の勉強方法を顧みない。
成績は勉強時間と学習効率(進捗+定着度)で決まることを知っており、いずれも高めようとしている。	成績がどうしたら上がるかを理解しておらず、ただ漫然と勉強をしている。
1年間、感情をできるだけ排除し一定のペースで勉強を続けることができる	感情に左右され、ペースに乱れがある。夏前に怠けて勉強をし、秋以降に焦って空回りし成績に伸び悩む。
偏差値や合格判定の意味を理解しており、結果に惑わされずやるべきことをやる。	偏差値や合格判定に一喜一憂し、やるべきことをやらずに伸び悩む。
医学部合格に必要な状態や合格するライバルと比較して、改善を重ねている。	過去の自分と比較して、よくできていると満足する。